



日本医療機能評価機構認定病院
京都山城総合医療センター
 Kyoto Yamashiro General Medical Center

発行元 京都山城総合医療センター
 発行元責任者 中井 一郎

新人紹介



神経内科 山口 達之
 4月1日より再びお世話になることになりました神経内科の山口達之です。H20年3月まで常勤医↓週1回の神経内科外来担当医として勤務させていただきましたので7年ぶりです。木津の新しい駅舎はできあがってから異動しましたので驚きは無いのですが、久しぶりに見る木津駅前周辺の変貌ぶりには少し驚きました。駅周辺ほどではありませんが、他院におりました7年間で私自身も若干は成長できたかと思えますので、以前勤務していた時よりもより良い医療が提供できるようにがんばりたいと思えます。よろしくお願いたします。



泌尿器科 上野 彰久
 皆様はじめまして。この4月より着任しました泌尿器科の上野彰久です。
 平成19年京都府立医大卒業で、卒業後は近江八幡市立総合医療センターで研修し、その後京都府立医科大学附属病院、大阪府済生会吹田病院、京都第一赤十字病院、近江八幡市立総合医療センターで勤務し、大学院を経てきました。実家がお隣の奈良市であり、木津近辺も馴染みのある土地であったので、この京都山城医療センターへの異動が決まりうれしく思います。また、当科の鈴木部長は、部長の前任地で私と一緒に働いたこともあり、とても心強い存在です。新たな環境で身を引き締めて、至らぬ点は多々あると思えますが、患者さんが安心して診療を受けていただけるように精一杯努力してまいります。どうぞよろしくお願いたします。



小児科 正木 綾香
 4月から小児科に勤務させていただくことになりました。正木綾香です。
 平成19年に岡山県にある川崎医科大学を卒業して、初期臨床研修期間を経て小児科医となり今年で医師9年目となります。今までは京都市立病院、京都府立医科大学、松下記念病院に勤務してきました。昨年に息子を授かり約一年間育児休暇をとらせていただいて、臨床現場からは少し距離をおいていました。妊娠、出産を経験し母親として子供と向かいあうことで得た経験をいかし、さらに患者さんの気持ちに寄り添った診療ができたらと思っております。よろしくお願いたします。



研修医 喜多 優介
 本年度より研修医として勤務させて頂くことになりました京都府立医大卒の喜多優介と申します。中学、高校と奈良で過ごしたので、木津川市も親しみのある土地です。また学生時代に実習でお世話になり、是非この病院で研修させて頂きたいと考えていたので、とても嬉しく思っています。至らぬ点もあるかと思えますが、早く皆様のお役に立てるように精一杯頑張りますので、宜しくお願いたします。



研修医 原田 雄基
 4月から研修医として1年間勤務させて頂きます原田雄基と申します。未熟者で至らぬ点も多くあるかとは思いますが、少しでも皆様のお役に立てますよう全力で頑張りますので、何卒宜しくお願いたします。

地域包括ケア研修会

平成27年2月5日、構成市町村の首長を始めとする行政各位並びに医師会を始めとする関係機関等、多数のご参加を頂き東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授の辻哲夫先生をお招きして「地域包括ケアとまちづくり」というテーマで研修会を開催しました。これからの日本が迎える超高齢社会の現実や2025年問題またその後のことを想像し、危機感さえ覚えながら聞かせて頂き、政府が考える超高齢社会に対する政策の一端が見えてきたように思いました。以下、簡単にその内容を紹介します。

2025年には、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者になります。65歳以上である高齢者の世帯は1843万世帯に増加し、一人暮らしの高齢者や認知症の高齢者も急増すると推計されています。今後、このような類をみないスピードで進行していく超高齢社会に対応する手段として、生活習慣病予防・介護予防が重要ですが、それ以外にも、介護が必要となった要介護高齢者を支えるシステムの確立が急務となります。

「地域包括ケアシステム」とは、日常生活圏域(30分程度で駆けつけられる地域)の中で、「医療・介護・予防・生活支援・住まい」を要介護者等に包括的かつ継続的に提供するシステムです。今までのように、病気になるったら病院、介護が必要になったら介護施設というのでなく、在宅ケアを基本とし地域全体で支えあい、住み慣れた住まいで生活し続けることを目指します。

最後に地域包括ケアシステムの確立に向け、国の施策としても今後市町村に在宅医療連携拠点を設置し、医師会や行政・病院在宅サービス事業者等との連携を行うコーディネイト役を創設することも示されました。

地域医療連携室 中村 真史



大学 高齢社会総合研究機構 任教授 辻 哲夫 先生



再就職支援研修

当院では、看護師免許を持ちながら何らかの理由で現場から離れている看護師、いわゆる潜在看護師を対象とした「再就職支援研修」を年間 3 回開催しました。内容は「採血・注射」「ME 機器の取扱い」「フィジカルアセスメント」などの看護技術や、電子カルテの操作、現場の看護職員との茶話会、院内見学などです。この研修は来年以降も継続し、一人でも多くのやる気を持った看護師の方々の復職をサポートしていきたいと考えています。

岡上 亜子



京都山城総合医療センター 登録医一覧

平成 27 年 2 月 14 日現在
地域医療連携室

市町村	地区	医院名	医師	診療科
木津川市	木津	小堤医院	小堤 國廣先生	内科・小児科・アレルギー科
		飯田医院	飯田 泰啓先生	内科・放射線科
			飯田 泰子先生	
		ふるかわ医院	古川 裕先生	内科・小児科・アレルギー科
		松尾クリニック	松尾 尚樹先生	内科・消化器科・放射線科
		やました小児科医院	山下千賀子先生	小児科・アレルギー科
			山下 隆司先生	
		林こころのクリニック	林 竜也先生	精神科・心療内科
		西城医院	西城 建志先生	内科
		吉川医院	吉川 純弘先生	内科・放射線科
		いとうクリニック	伊藤 英晃先生	泌尿器科
		きゅうまウィメンズクリニック	久間 正幸先生	内科・婦人科・産科
			久間 知子先生	
	あさの内科クリニック	浅野 裕之先生	内科・消化器科・循環器科	
	いさじ医院	伊左治秀孝先生	内科・外科・整形外科	
	松森内科医院	河村 基先生	内科	
				河村 允先生
	河村医院	河村 基先生	内科	
		河村 允先生		
加茂	山口医院	山口 泰司先生	内科・消化器科	
	小川医院	小川 正先生	内科・小児科	
山城	小沢医院	小澤 勝先生	内科・呼吸器科・眼科	
		小澤寿美子先生		
和束町		柳沢活道ヶ丘診療所	柳沢 衛先生	内科
笠置町		伊左治医院	伊左治友子先生	内科・小児科・外科・皮膚科
南山城村		竹澤内科小児科医院	竹澤 健先生	内科・小児科
相楽郡	精華町	藤木医院	藤木 新治先生	内科
		天野医院	天野 基弥先生	内科・循環器科・リハビリ科
		おく内科医院	奥 和美先生	内科・リウマチ科・糖尿病代謝内科・消化器科
		下里医院	下里 豪俊先生	内科・婦人科・麻酔科
			下里 千波先生	
		コマダ診療所	池田 文武先生	内科・小児科・外科・整形外科
		岸田内科医院	岸田 秀樹先生	内科・老年内科・消化器内科

登録医制度について

病院新聞 平成 26 年春号 2 面下段にて、『地域医療支援病院』名称承認申請への取り組み』という記事を掲載しました。そこでは、その取り組みとして相楽医師会の先生方と連携を深めること、当院の施設（診療機器や病床等）を共同利用していただくことを述べておりました。共同利用していただくための手続きとして、相楽医師会の先生方にお声掛けして、登録医となつていただいています。現在ご登録いただいているのは、25 医療機関、30 名の先生方です。一覧にて登録医療機関の所在地、登録医の先生方の氏名、診療科目をご紹介します。今後はこ

の紙面にて、個々の先生方のもう少し詳しい情報を順次お知らせする予定です。診療所からは、病院での医療が必要となった患者さんをごだけ多く、早く受け入れようと務めています。また、病院での医療がほぼ終了した患者さんにつきましては、地域の診療所の先生に、確実に引き継がせていただくことにより、住民の皆様にとつてよりよい地域医療供給体制が整えてゆけるものと考えています。

地域医療推進部長 岩本 一秀

機器紹介

脳波計

脳波とは、時々刻々と変化する脳の神経細胞の自発的な電気活動を、頭皮上の電極から記録したものです。脳に負担をかける必要がないため、極めて安全な検査法といわれています。脳の機能評価のためには不可欠で、てんかんや代謝性脳症、意識障害の診断に用いられます。

このたび、脳波計が更新されます。従来のペン書きから、ペーパーレスのデジタル方式に変わりました。デジタル脳波計（以前はペーパーレス脳波計と言いました）が世に出始めたのは、およそ20年前です。京都府立医科大学の臨床検査部門におりました頃、脳波計がデジタル方式に更新されました。当時は判読のためにインク書きプリンターにて、従来の脳波計の如く印刷して判読していました。その後、画面での判読が主流となり、デジタル方式特有の利点を生かした判読が可能となっております。

利点の第一は、モニター（頭皮上の電極をどのように選んで、各チャンネルに表示させるか）が従来の脳波計では、記録の時に決定し記録後には変更不能でしたが、デジタル脳波計では、記録後もモニターを変更可、より詳細な解析が可能となったこと、第二は脳波の周波数解析を記録と同時に、脳波の帯域のうちどの部分が優勢であるかを、直ちに可視化できることです。

さらに神経診断システムをネットワーク化するようになりました。脳波計、筋

電計にて検査を開始する際に、患者さんの基本データが電子カルテシステムから取り込まれます。また、記録したデータはハードディスク上で管理されるようになりました。そのため、大量の紙のデータが発生することがなく、保管のためのスペースが節約でき、環境にも優しいと言えます。判読に際して、複数の端末（医局、小児科外来、脳・脊髄センター外来）で、脳波を閲覧することも、過去の検査結果を呼び出すこともでき、診療の効率もアップします。

臨床検査科一同、新しい機器を得て、神経生理学検査の精度の向上を目指しています。

神経内科部長 岩本 一秀
臨床検査科 新納 由美



みなさん「医師事務作業補助」という職種をご存知ですか？



診察室に医師・看護師以外に事務服の職員がいるのをご存知でしょうか？

患者様の中には「なぜ診察室に事務員がいるの？」と疑問に感じている方もいらっしゃると思います。今回、このページをお借りして職種紹介をさせていただくこととなりました。

「医師事務作業補助」とは、医師が本来の業務である医療行為に専念できるように事務的業務をサポートするために、平成20年診療報酬改訂の基本方針により新設された新しい職種なのです。医師事務作業補助の業務内容は、大きく分けて

- 診断書や紹介状などの「医療文書の作成代行」
- 電子カルテなど「診療記録への代行入力」

などがあり、医師の指示のもと、

主に外来診療に同席して業務を行っています。

当院では、平成21年より医師事務作業補助が導入され、当初4名からスタートしたメンバーが、今では18名となり、現在、内科・腎臓内科・泌尿器科・整形外科・眼科・耳鼻科などで、医師の指示のもと看護師等や事務スタッフと連携を図りながら、診療がスムーズに行えるようにサポート業務に当たっております。今後もニーズは益々増えていくものと思われまます。

医師の事務的負担の軽減と医療現場の質の向上、そして患者さんが少しでも快適に安心して当院を利用していただけよう、微力ですがこれからも日々精進していきたいと思っております。今後共、どうぞ皆様のご理解を宜しくお願い致します。

医療事務作業補助者 永岡 好美

平成27年新年度診療担当医一覧

・全科予約にて診療しています (小児科一般外来及び急患は除く)
 ・予約をされていない方の受付時間は、午前8時30分から午前11時30分までです。
 (診療科によって異なる場合があります)

※整形外科は、火・木に限り初診受付が可能です。月・水・金は非常勤医師による予約のみの外来診察となっております。
 ※耳鼻咽喉科は週2回 (月・金) の非常勤医師による外来診察のため、予約のみの診療となっております。予約外は受付できません。
 ※皮膚科は週3回 (月・水・金)、非常勤医師による外来診察のため、予約外をお受けできない場合があります。
 ※診療担当医師につきましては、休診・代診等の場合もありますので、詳しくは病院へお問合せください。

平成 27 年 4 月 1 日以降 は午後診察です

診療科		月	火	水	木	金	
糖尿病センター	糖尿病・代謝内科	内科 1 診	中 埜	担当医	中 埜	担当医	
内 科	2 診 ハートセンター 3 診 4 診 5 診 消化器内科 循環器内科 リウマチ科	2 診	赤羽目 循環器	富 安 循環器	堤 循環器	長谷川 循環器	富 安 循環器
		3 診	堤 ◎新 患	和 田 リウマチ	和 田 ◎新 患	和 田 リウマチ	—
		4 診	黒 田 総合	新 井 消化器	黒 田 消化器	—	新 井 消化器
		5 診	川 端 消化器	赤羽目 ◎新 患	田 辺 消化器	田 辺 ◎新 患	川 端 ◎新 患
小児科	午前 1 診	内 藤	正 木	和 泉	加 納	内 藤	
	午前 2 診	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
特殊外来 (午後・予約制)		腎 臓 予防接種	血液慢性疾患 循環器 予防接種	乳児検診	小児神経	アレルギー外来	
外 科	午前	1 診	中 田	中 田	糸 川 1・3・5 週	糸 川	氏 家
		2 診	大 内	氏 家	佐々木	伊 藤	中 井
		3 診	小 池	中 井	小 池	大 橋	大 内
	午後	1 診	—	中 田 消化器	糸 川 (消化器) 1・3・5 週	—	緩和ケア
		2 診	佐々木 小児外科	—	佐々木 小児外科	伊 藤 呼吸器	中 井 乳腺・内分泌
		3 診	小 池 腹腔鏡手術	中 井 乳腺・内分泌	加 藤 呼吸器	大 橋 乳腺	大 内 乳腺
整形外科		中 河庸	吉 田宗	山 本浩	吉 田宗	担当医	
脳・脊髄センター	神経内科	木 村	岩 本一	岩 本一	山 口	向 井	
	脳神経外科	担当医	藤 田	岩 本芳	—	高 道	
皮膚科		在 田	—	横 瀬	—	若 林	
慢性腎臓病センター	泌尿器科	鈴 木	上 野	鈴 木	上 野	鈴 木	
	腎臓内科	—	中 谷	—	浅 井	—	
産婦人科		1 診	澤 田	前 田	澤 田	澤 田	
		2 診	戸 崎	—	戸 崎	前 田	
眼 科	1 診	吉 田聖	藺 村	藺 村	藺 村	藺 村 第 2・4 週	
	2 診	—	小 林	小 林	吉 田聖	山 本 第 1・3・5 週	
耳鼻咽喉科 (予約のみ)		村 上	—	—	—	担当医	

◎老健やましろでは介護職員を募集しています。見学の
 みも承りますのでお気軽にご連絡ください。
 介護老人保健施設やましろ (0774) 73-0359

『リハビリ』という言葉は、
 いて、皆さんはどのようなイ
 メージを持たれますか？白衣を
 着たりハビリの先生がついて、
 関節を動かす訓練をしたり、歩
 く訓練をしたり...といったイ
 メージを持たれている方が多い
 のではないのでしょうか。
 介護老人保健施設では、「専
 門のリハビリスタッフが行う」
 だけでなく、「日常生活全般を
 通してリハビリを行う」と考えています。服を着替える、
 ベッドから車椅子に座る、トイレに行く、食事をする、
 他の利用者さんやスタッフと会話をし、レクリエーショ
 ンを楽しむ...そのような日常生活全般の動作をリハビリ
 と捉え、出来ることはご本人にしていきたい。メリハリ
 のある生活を送っていただくことで「普通の生活」を少
 しでも長く続けられるようサポートします。



介護老人保健施設やましろ

看護の日 健康フェスタ 2015

参加費無料

と き 5月8日 (金) 午前9時00分~12時00分
 ところ 木津駅前広場 (雨天時: 当院正面玄関)
 内 容 ・健康チェック (身長・体重・血圧・体脂肪率・
 血管年齢・骨密度)
 ・健康相談 (医師・認定看護師・管理栄養士)
 ・転倒しない靴えらび (理学療法士)
 ・乳癌の自己検診方法 ・アロマでのハンドマッサージ
 *骨密度をご希望の方は、裸足になりやすい格好でお越し下さい
 *記念品配布

地域にお住まいの方、
 御自身の健康チェックをしてみませんか？

看護師 募集

地域の中核病院で一緒に働きませんか

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.yamashiro-hp-jp/>

待 遇 ○地方公務員に準ずる
 ○期末勤勉手当 年2回 (6月、12月)
 ○定期昇給 年1回

看護部もしくは事務局まで

TEL0774-72-0235

お気軽にお電話ください



●H28年度新入職者
 ●中途採用者